

事務事業名		職員研修事業		会計		一般会計		実施区分	
H28担当課等名		人事課		H28係等名		人事係		H27係等名	
基本計画上の位置づけ		政策 9 市民と共に進める行政経営		施策 93 良質な行政サービスの提供		開始		終了	
目的	対象(誰・何を)	職員(全職員) ①対象が特定されるもの〔各階層の職員(新規採用、若手(隔年実施のためH21は非該当)、中堅、係長、課長、部長)・特定の事務事業を担当する職員〕 ②対象が特定できないもの〔階層、職務内容に無関係に受講させたいとする職員〕			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	飯田市の職員としてそれぞれの立場で求められる知識や能力を身につけてもらう				①:研修ごとの該当職員数(人)		2050	
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)				②:受講してもらいたい職員数(人)		2000	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	研修終了時のアンケートから把握できる満足度の高さ(「普通」以上の割合)(%)			98	95.3	98	-	
	定性目標								
事業概要	<p>地方分権時代に対応した十分な能力と実行力を備えた職員を育成するため、階層別、業務内容及び課題に応じた研修を職場内外において実施する。</p> <p>具体的な取り組みは、人材育成基本方針に則り、①政策立案能力・仕事力の強化、②キャリア形成支援の強化、③管理監督職のマネジメント力の強化の3点に重点をおいて職員研修を推進する。</p> <p>①政策立案能力・仕事力の強化では、職員の能力開発段階や職位段階に応じて、主体的・自律的に能力開発を進められるよう、階層別研修を実施する。</p> <p>②キャリア形成支援の強化では、職員が今後のキャリア形成を明確にし、自己の目標を主体的にとらえ、積極的に能力開発に取り組めるよう、キャリア形成を考える機会を提供する。</p> <p>③管理監督者のマネジメント力の強化では、管理監督者が担うべきマネジメント上の役割について認識を深める研修を実施する。</p> <p>その他、職員の自主研修への支援を実施する。</p>								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	1 新規採用職員研修(採用前、採用時、文章事務、正式任用前、自動車安全運転研修、接遇)				1 参加職員数		1 311人		
	2 年齢別・階層別集合研修(現任係長、現任課長補佐、新任昇格者、人事評価評定者、人事評価基礎、一般行政、中堅前期・後期、若手、政策形成、自治体法務研修及び検定受検、eラーニング)				2 参加職員数		2 261人		
	3 選択研修(中央省庁等長期派遣、市町村アカデミー派遣、異業種交流、救急救命講習、自主提案研修)				3 参加職員数		3 540人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		17,705	15,049	12,685	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		17,705	15,049	12,685					
人件費計(千円)②		35,939		35,939					
正規職員所要時間		10,050		10,050					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		53,644	15,049	48,624	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> ・片山義博氏の講演会を実施し、職員の自主研修を支援した。eラーニングを導入し、若手職員の研修の充実を図った。 ・運転に慣れていない新規採用職員を対象に飯田自動車学校にて安全運転研修を実施し、安全運転に対する意識及び技術の再確認を行った。 							
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講生の満足度を高めるための内容検討。 ・女性職員のキャリアプランの支援。 							
	②改革提案	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講生の意見を参考に、職員研修事業を固定化せずに柔軟に見直していく。 ・受講生の満足度を高めること、職員同士が学び合う風土づくりに努める。 ・職員の自立的、自主的な学習意欲を積極的に支援する。 							